



10日(金) 避難訓練

22日(水) お楽しみ会

27日(月) 運動会振替休日

お知らせ&お願い

◇ 9月27日の振替休業日について

小学校の振替休業日に伴い、朝からこどもセンターを開所します。利用される方はおかず入りお弁当とおやつ(200円分)の持参をお願いします。詳しくは後日お知らせします。

◇ 欠席時の連絡について

クラブを欠席される際には必ず学校とクラブの両方に連絡をしてください。学校の連絡帳のみの記載では保護者の方に電話で確認を取らせてもらいます。また、確認が取れない場合にはこどもの安全を考慮し、クラブへ連れて帰りますので、ご了承ください。

ちょこっとコーナー

夏休みのある日、午前中に部屋にこもりひたすらカプラで遊んでいるこどもたち。「先生、完成したから写真撮って～」と言ってきたので部屋を見ると、タワーや船、カプラだけではなくレゴやブロックも組み合わせて作品を作り上げていました。



やかた便り

あすなろこどもセンタークラブ情報紙

令和3年9月7日 第6号

「ただしい」から「たのしい」へ

9月になっても、まだまだ猛暑と言えるような暑い日が続いています。それでも朝夕には、少しだけ空気が変わってきたのを感じます。この時期にいつも思い出すのが、この短歌です。

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」

暑さの中にあっても、少し秋の気配を感じるさまを見事に綴った短歌だと思います。

転じて今の時代を見てみると、ネットやスマホですべてが短時間にできる時代になり、言葉も大きく変わっています。私にはわからない言葉も多くあり、時代の流れを感じないではいられません。

先月、インターネット上で誹謗中傷対策を強化するため、法務省が侮辱罪を厳罰化し、懲役刑を導入すると報じられていました。今やネットの世界では匿名で何でも言えると思うのか、きつい言葉や平気で他人を傷つける言葉も見られます。どんなにAIの時代になり便利になろうとも、それを使うのは人間であり、そこにはやはりルールやマナーがあるということ、私たち大人はこどもに教えていくことが必要だと感じます。

現代っ子の多くは、ものが豊富な時代に育っています。そのため、何でも我慢をする習慣が育っていない子が多く見られます。自分が腹が立つと、その気持ちをそのまま相手にぶつけ、トラブルになることもよくあります。

社会の中で「正しい」を押し通していくと、大抵けんかの元になります。「ただしい」を一文字かえて「たのしい」にしていくとずいぶん結果が変わっていくように思います。例えば、相手に何か嫌なことを言われて気分が悪くなったとします。そのときストレートに相手に気持ちをぶつけるのではなく、心の中でまず「1、2、3」と3つ数え、一呼吸置きます。その後で自分の気持ちを冷静に相手に伝えます。「あなたが今言ったことは、私にはとてもつらい気持ちにさせる言葉です。もしそれをこんな風に言ってくれれば私は楽しくなるんだけどね」とこっそり伝えるとどうでしょうか。「ああそうなんだ、ごめんね」で終わるとそこで一つ問題が解決します。

言葉は簡単に口をついて発せられますが、それだけに相手に向けて言う言葉はよく考えた言葉に向ける必要があります。こどもたちがけんかをする時は、一つ一つがその練習になっていますから、簡単に謝らせて終わりにしてはいけないこともよくあります。

「こんな気持ちだったんだね」と誰かが自分の気持ちを理解してくれるだけで、その子の気持ちは癒やされることが多くあります。大人はこどもをただ叱るのではなく、彼らが大人になって厳しい社会をうまく泳いでいけるよう、自分の足で歩き、自分の考えをうまく伝える方法を一つ一つ教えていかななくてはなりません。とてつもなく長い道のりであり、また根気のいる仕事でもあります。でもこどもに関わる仕事をするということは、自分の根気もまた試されているのだとも思います。大人も、自分がこどもを通して人間を磨いていく道を歩くということが、「生きる」という道ではないかと感じています。

今日も大勢のこどもたちがやってきます。さて今日はどんな顔で過ごしているか、楽しみにしながら覗くようにしましょう。「え、もうけんかしてる?はいはい、私の人間磨きがまた始まりますね。今行きますよー!」

こどもセンター所長 杉井康志

バス旅行

ノースヴィレッジ

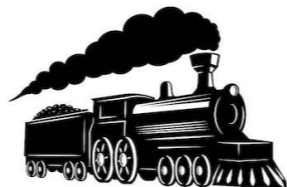
園内を各クラブ自由にまわりました。動物との触れ合いが楽しめる場所があり、近寄ってみただと、ちょっと怖くて少し離れたところから見ていました。



たくさんの種類のアスレチックがあり、体を動かして遊びました。汗を流しながらも友だち同士でとても楽しそうな表情が見られました。



鉄道館



鉄道の歴史や模型を見て、昔はよくあの鉄道に乗ったなあ...と懐かしむ職員や、こんな大きな電車がどうやって動いているんだろうと興味津々な様子で見学する子どもたち。15時には汽笛が鳴り、大きな音に驚いていました。



こどもセンター夏祭り



毎年恒例のこどもセンター夏祭り。今年はこどもたちが準備から店番まで行い、こどもが主体となって開催しました。各クラブでどんなことをするかを話し合うことから始め、みんなで取り組みました。金魚すくいやゲームコーナーなど、みんなが楽しめるあそびコーナーができました。各クラブをまわり、景品をたくさんゲットして嬉しいこどもたちでした。

